

「指定寄附金」制度に寄附された皆様へ

拝啓 時節皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
先の東日本大震災により堂宇のすべてと流失しましたが、保険金を元に何とか本堂と庫裏を再建することができました。これもひとえにご支援いただいた皆様の賜と深く感謝を申し上げます。

山門を本堂建設と同時に再建する余力はなく、いずれ再建しなければならないので、震災前の山門は建築後2年弱で津波により流出しましたが、屋根部分が破損状態で回収され保管しておりました。

何とか山門を再建したいと思っていたところ、国の「指定寄附制度」の情報を得、手続きを済ませ平成26年6月19日から平成28年2月29日まで募集期間をいただき、多くの個人・企業の方々からご寄附を賜り誠にありがとうございました。

しかし、許可をいただいた期間内に募金満額まで達することができませんでした。指定寄附制度上その目的を達成させなければならないので、破損状態で回収され保管していました山門屋根を再利用することとし、指定寄附金と篤信者寄附金・法人拠出金をもって山門を再建することになり、このたび落慶することができました。

指定寄附並びに篤信寄附をしていただいた方々に厚く御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

ご報告が大変遅くなりましたことをお詫びもうしあげ、山門落慶の御礼のご挨拶に代えさせていただきます。

時節向寒の折、どうぞご自愛いただきたくご祈念申し上げます。

当方にお出かけの場合はどうぞお立ち寄り拝観いただければと存じます。

合掌

平成28年10月仏縁日

宗教法人 洞 福 寺
代表役員 石 田 信 孝



山門



山門と本堂・庫裏